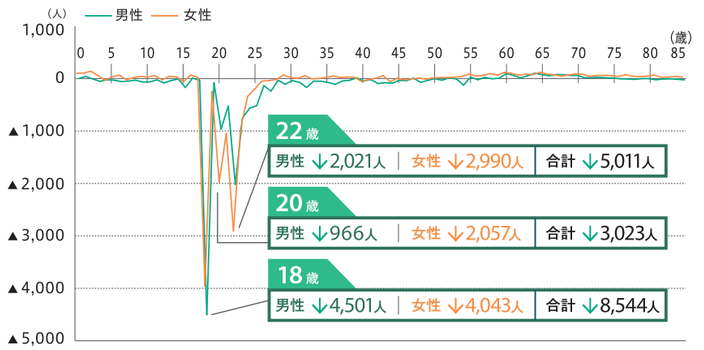
大きな課題と取組の方向性

課題 1 若者・女性の県外流出

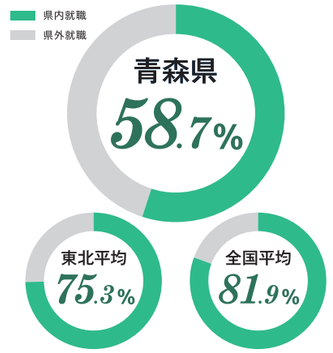
進学や就職を契機とした若者・女性の県外流出に歯止めがかかっていない状況

年齢別社会増減数



（2015 年 10 月～2020 年 9 月、青森県）　資料：青森県「人口移動統計調査」

高等学校卒業者の就職状況



（2021 年 3 月卒）　資料：文部科学省「学校基本調査」

若者の県内定着・還流を促進していくためには、

経済を回す仕組みづくりの充実・強化
と多様で魅力ある「しごと」の創出が重要

本県の「しごと」と「暮らし」の魅力
を県民にしっかりと伝えることが重要

取組の方向性

経済を回す
- 魅力ある「しごと」をつくり、多様な雇用を生み出します。

世界へ打って出る ~Local to World~
- 世界を視野に入れた「攻めの姿勢」で取り組みます。

ふるさとあおもりへの自信と誇り
- 県民誰もがふるさとあおもりへの誇りを持ち、県外・海外に向けて自信をもって発信します。

若者の奨学金返還を支援し、県内定着を促進する新たな制度を創設します

「あおもり若者定着奨学金返還支援制度」

目的
若者の県内定着・還流の促進及び産業人財確保

支援額
産業界と連携し、**最大150万円**の返還支援

支援対象・条件
日本学生支援機構や青森県育英奨学会の奨学金利用者
大学等の新卒・既卒者（35 歳未満）、県内で一定期間就業等

支援目標
年度当たり**100名程度**
（令和 10 年度までで 550 名程度）

（※2022 年 6 月 制度開始予定）

課題 2 人手不足の顕在化と労働生産性の向上

多くの産業分野で慢性的な人手不足が顕在化 / 労働力の適正配分と、労働生産性の向上が重要

産業別の充足率

	2015年度	2019年度
全体	27.1%	21.8%（△5.3pt）
医療福祉	29.3%	22.5%（△6.8pt）
情報通信業	28.8%	17.5%（△11.3pt）
小売業	22.9%	17.4%（△5.5pt）
建設業	16.4%	11.6%（△4.8pt）

※充足率：ハローワークの紹介により就職した人数を新規求人数で割って算出したもの

資料：青森労働局「職業安定業務取扱年報」（2015 年度及び 2019 年度）

取組の方向性

人手不足への対応
- 若者の県内定着、人財還流を促進します。
- 女性や高齢者など、誰もが多様な働き方ができる環境づくりを進めます。
- AIやIoTなど革新技術を活用した省力化や生産性の向上に取り組みます。

課題 3 2025年超高齢化時代への対応

2025年には団塊の世代が全て後期高齢者となり、経験したことのない超高齢化時代を迎えることに

保健・医療・福祉体制の一層の充実、交通・買物・食事といった生活機能の維持・確保が課題

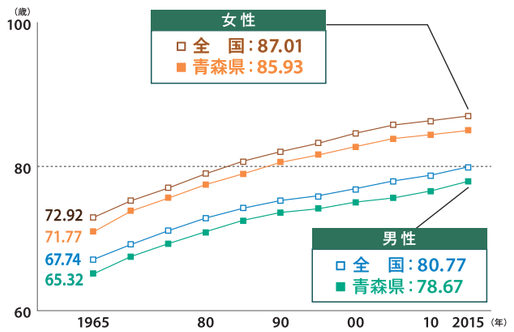
取組の方向性

「青森県型地域共生社会」の実現
- 2025年の超高齢化時代を見据え、県民の誰もが地域で生まれ、地域で育ち、地域を助け、地域で安心して老後を迎えることができる社会の実現をめざします。

課題 4 平均寿命・健康寿命の延伸

本県の平均寿命は都道府県別では男女とも最下位ながら、着実に延伸 /
平均寿命とともに、健康的に日常生活を送ることができる「健康寿命」の延伸に向けた取組も重要

平均寿命の推移



資料：厚生労働省「都道府県別生命表」

本県の健康寿命

		全国
男性	71.73歳	72.68歳
女性	76.05歳	75.38歳

（2019 年推計値）

取組の方向性

県民の健康づくり
- 平均寿命・健康寿命の延伸に向け、県民の健康意識の向上に取り組みます。
- 働き盛り世代を始め、各年代のライフスタイルに応じた生活習慣の改善、健診等受診率の向上などに取り組みます。